

## 2022 年 技術士全国大会 建設部会意見交換会 議事録

開催日時：2022 年 10 月 28 日（金）13 時 30 分～16 時 00 分

会 場：奈良春日野国際フォーラム 別館 会議室 5【奈良市春日野町 101】

出席者：建設部会幹事会代表者、地域本部（建設部門）代表者 他

（会場参加者：24 名、WEB 参加者：25 名、参加者合計：49 名）

開催目的：建設部会と地域本部（建設部門担当）における活動内容と課題の共有、および建設部会への要望について意見交換する。

【会議は公開（会員限定で自由に聴講可能（WEB 配信併用））】

配布資料：資料 1 参加者名簿及び配席表

資料 2 2021 年全国大会意見交換会議事録

資料 3 建設部会運営方針

資料 4 建設部会活動報告

資料 5 地域本部活動報告

資料 6 地域本部からの建設部会への要望事項・提言

資料 7 技術士制度検討委員会の報告

資料 8 技術士資格活用委員会の報告

### 1. 開会挨拶【増野部会長】

- 新しい CPD 制度が運用されているが、色々な課題がある。建設部会としては CPD 制度に力を入れているので、国交省に積極的に働きかけて、課題を解決していきたい。
- 国交省への働きかけは、地域本部と連携が必要である。色々な意見をいただいて、連携のあり方を考えていきたい。

### 2. 会長挨拶【寺井日本技術士会会長】

- 部会活動において、「統括本部の建設部会」という表現が非常におかしなことを引き起こしている。技術士は「地域」「専門分野」の両方の組織に所属することが明確に規定されている。本部は地域で活発に行われている色々な活動にコミットし、本部と地域は一つにならないといけない。本部の幹事会には地域から人を出していただき、もっと交流しなければならない。
- 技術士制度改革の中で一番ホットな話題は IPD である。今後、大きな問題となるのは IEA が掲げるプロフェッショナル・コンピテンシーを建設部門としてカスタマイズすることである。建設部会の活動にもその観点を取り込んでいただきたい。

### 3. 建設部会運営方針【増野部会長】

- 資料 3 について説明

### 4. 建設部会活動報告【松岡幹事長】

- 資料 4 について説明

### 5. 地域本部活動報告及び質疑応答（資料 5 について説明）

- (1) 北海道本部【長井幹事】
- (2) 東北本部【加納幹事】
- (3) 北陸本部【田邊建設部会担当】
- (4) 中部本部【牧野部会長】
- (5) 近畿本部【森建設部会担当】
- (6) 中国本部【浅間部会長】
- (7) 四国本部【谷脇幹事】
- (8) 九州本部【岡田建設部会長】
- (9) 質疑応答

Q: 北海道本部の正会員比率が高い理由としてメーリングリストを作って色々な情報を発信していると聞いたが、その効果的な情報の内容は？

A: 祝賀会をきっかけに、そこから繋がりをもって、技術士会以外の行事も継続的に情報発信している。（北海道支部）

Q: 北陸本部の行事は参加者が多いが、参加者の内訳は？

A: 講演会や見学会はほとんど会員である。ウェブ併用型は参加者が多い。（北陸支部）

Q: 国土交通省認定資格をプロポーザル評価において加点する試みについて教えて欲しい。

A: 例えば技術士 100 点にその他関連した民間資格を持っていたらプラス 20 点という加点を試行的に行っている。国土交通省技術調査課に確認したが、あくまで試行的との事。（長崎理事）

### 6. 部会と地域との連携についての意見交換【松岡幹事長】

地域本部からの主な要望事項・提言等は以下のとおり。

- 全国レベルでの講師を招いての Web 配信は有意義なので継続して欲しい。
- 正会員だけではなく非会員へも Web 配信できないか。
- 正会員と非会員の Web 参加費の差が、正会員へ導くインセンティブとなる。
- 技術士会以外の協会に CPD 登録している人が、技術士会 CPD に入っていない。
- 技術士会 CPD の認知度が低い
- Web 配信において、非会員にも使いやすいシステムに拡大してほしい。

- 建設部会の Web 配信は会員 1,000 円、非会員 2,000 円となっている。（増野部会長）
- 来年の行事の計画をしている。良い講師がいれば紹介してもらいたい（増野部会長）

Q：中部本部ではやめてしまったが、拠点配信は可能なのか？（中部本部）

A：費用の問題はあるが、各部会に相談して OK であれば拠点配信は可能である。

A：費用を払っていない申込者以外の人の CPD 登録はルール違反である。（中川委員長）

Q：Web 配信で参加費 1,000 円は高いのではないか？（中国支部）

A：2 つのルールを守れば地域や部門の裁量で参加費を設定して良い。（長崎委員長）

①会員は非会員より安価に設定しなければいけない。

②Web 配信では主催地会場と遠隔地を同額にしなければいけない。

A：企画委員会では、参加費は従来通りにし会費を下げていくという案も検討中（長崎委員長）

## 7. 技術士制度検討委員会の報告【中川委員長】

- 今年度、制度に絡む大きな行事があった。6 月に IPD 作業部会、8 月に制度検討特別委員会があり、10 月 11 日の与党議員連盟の総会では「IPD システムの構築」「新・技術士 CPD 活動の状況」について話した。
- 今後、制度検討では、IPD が非常に大きな位置づけとなってくる。今年度から「IPD ヒアリング」「IPD 懇談会」がスタートし、IPD コミュニティを構築していく。浸透していった先に大きな制度設計がある。
- CPD の制度検討では、新・技術士 CPD 制度がスタートし、拡大・定着させ、その先に法改正を伴う制度変更がある。
- IPD ヒアリング（第 1 回）は、11 月 24 日に開催する。
- IPD 懇談会（第 1 回）は、12 月中に開催したい。
- 総合技術監理アンケートは 4,000 名を超える回答があった。そのうち 700 名くらいが非会員であり、現在、アンケート結果を分析している。
- 技術士 CPD 活動実績簿への記載申請数が少ない。建設部門では会員の 1 割にも満たない。今後どういうことをすれば増えるのか、御意見をいただきたい。

## 8. 技術士資格活用委員会の報告【長崎理事】

- 資料 8 について説明

## 9. その他

- 月刊「技術士 PE」をデジタル化して、会費を下げることを検討してもらいたい。
- 記載申請数を増やす活動をしているが、「将来こんなことがあるから今登録しなければ ダメだよ」という説得力のあるストーリーが欲しい。

#### 10. 閉会挨拶【黒崎副部会長】

- Web 配信ができるようになって CPD のやり方が増えた。
- テクニカルな課題（会員非会員、費用、拠点配信）があるからといって、研修の機会をシュリンクさせるようなことがあってはならない。
- 地域本部の御意見をいただきながら、課題を解決していきたい。

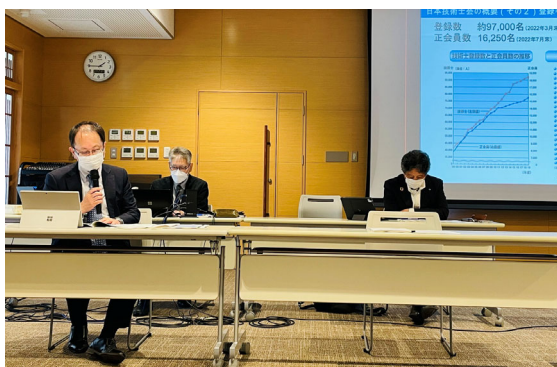
以上



寺井日本技術士会会長



増野建設部会部会長



松岡建設部会幹事長



会場の様子